

第16回（2年）

1. 日 時：令和5年10月18日（水）
13：30～15：30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
大会議室
3. テーマ：「絵手紙に親しむⅠ」
4. 講 師：梅村 つま子先生
（日本絵手紙協会公認講師）
5. 出席者：27／29名
6. 内 容



○準備：各自テーブルに新聞紙を敷き、絵手紙の道具をセットする。

- ①墨 ②筆2本（絵描き用、彩色用） ③画仙紙とはがき ④筆洗い容器 ⑤パレット ⑥顔彩
⑦印泥と印 ⑧ティッシュペーパー

○絵手紙作成の基本

「へたでいい、へたがいい」：思いを込めて一生懸命に書くことで相手の心に思いが伝わる。「お手本なし」：実物を観察しながら、思いのままに描く。筆の持ち方・姿勢・線を書く練習：姿勢を正し、筆の上の方を軽く持つ。あえて不自由な持ち方をすることで、「うまく描こう」という意識を取り除くのが狙い。ひじを上げ、力を抜いて筆をまっすぐ下ろす。半紙に筆の穂先でゆっくりと書く。横線、縦線、渦巻の練習を実践。（30秒で10cmの速度）

○本番

モチーフは、アイビー（ヘデラ）とピーマン、墨で輪郭線を書く。※ポイントは、はがきからはみ出るくらいに大きく。彩色は手早く、リズムカルにたたくように塗るのがコツ。言葉を入れる（自分の気持ちを素直な言葉で書く）、鮮やかな朱色の印を押印する。

7. 感想

初心者には、線の引き方やモチーフの描き方が難しいと感じた。回数を重ねれば見栄えのする絵手紙になると思う。「へたでいい、へたがいい」ほっとする言葉です。

